

ポロニア

ポロニアは県花「桐」の学名です

第29号

2012-12
平成24年
12月

発行・岩手県高等学校PTA連合会〈事務局〉盛岡市上田三丁目2-1 岩手県立盛岡第一高等学校内 TEL・FAX(019)625-6386 [E-mail] iwa_koupren@ybb.ne.jp

活動の在り方や課題は

会長
研修会

事例発表や意見交換

第22回会長研修会が10月19、20の両日、花巻市のホテル千秋閣で開かれました。県内各高校のPTA会長、副会長ら57人が参加。事例発表や意見交換を通してPTA活動の在り方や今後の課題、学校と家庭の連携などについて研究協議を深めました。2日目は分科会が開かれました。

初日は午後2時から研究協議が行われました。県高P連松尾正弘会長は「きょうは研究協議



PTA活動の在り方や課題について研究協議を深めた会長研修会

として雫石高校、黒沢尻北高校の2校に実践発表をしていただくことになっておりますので、宜しく願います」と挨拶。また来賓として吉田文夫花巻南高校校長（県高等学校長協会）が挨拶を述べられました。

研究協議は、岩泉高校の佐藤幸一会長を司会者に雫石高校の松尾榮一会長、黒沢尻北高校の和賀匡彦会長の2人が事例発表。これに基づいて意見交換が行われました。

雫石高校の松尾会長は「雫石高校のPTA活動について、地域に密着した活動を、生徒と共に」と題して発表。あいさつ運動や研修旅行、思郷祭(文化祭)、雪上運動会など活動状況について説明しました。「地域に開かれた高校ということで、生徒とPTAと教職員が一体となった活動を行っています」と述べました。



事例発表した雫石高校の松尾榮一会長(左)と黒沢尻北高校の和賀匡彦会長(右)

黒沢尻北高校の和賀会長は「我が黒陵とPTA」と題して発表しました。大学を見学する研修旅行、塾の先生などを講師に行う進路指導や講演会など、進学校としての取組についても紹介。「PTA活動を支える上

相続税について 工藤前会長講演

研究協議のあと全国高P連副会長、前県高P連会長の工藤重信氏(税理士)から相続税についての講演をいただきました。同氏は「よくわかる相続税申告と相続手続きについて」と題して説明しました。

全国で1年間で死亡する人は約120万人、このうち相続税の課税対象になる被相続人は約5万人、課税割合は4・2%。課税価格は、1兆5000億円、



講演する工藤重信氏

で最も大事なのは生徒、保護者、教職員の信頼で、信頼の上に立つて行う活動であれば、どんなものでも実を結ぶと思う」と述べました。
これらの事例発表に対して松尾高P連会長は「雫石高校の雪上運動会は300人以上が参加するということで、すばらしいと思いました。黒沢尻北高校は、会長も黒北出身ということで学校に対する誇りが伝わってきました」。吉田花巻南高校校長は「雫石高校の活動は地域とのつながりが強く、それを大事にしていけばいいと思う。黒沢尻北高校は、活動に多くの人が参加できるように工夫しているのがいい」とそれぞれ感想を述べました。

相続申告までのスケジュールや相続税の計算例などについて説明。確定申告する時になって被相続人同士の争いが起きないように、相続に当たっての注意点についても解説しました。